

互いの共通点に目を向けて話し合う力を高める指導の工夫 —モデルの提示とメモの活用を通して—

国語班 原田 明德
(小学校教諭)
担当指導主事
義務教育研究係 村田 伸宏

児童の実態

- 一部の児童しか発言しない
- 話合いが深まっていけない
- 司会の仕方が身に付いていない

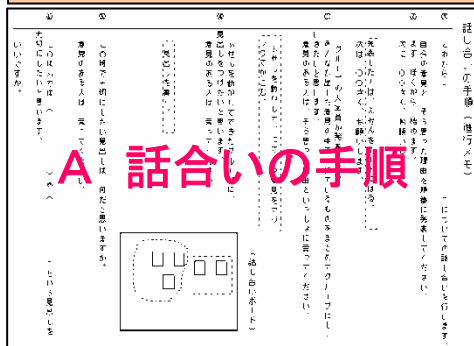
教師の願い

- 自分の意見を自信をもって発表できるようにしたい
- 話合いの仕方や司会の進め方を身に付けさせたい
- 共通点に目を向けた意見のまとめ方を身に付けさせたい

①モデルの提示

グループや学級全体での話合いの仕方を具体的につかませるために、モデル(A～C)を提示した。

A 話合いの手順



B 共通点の見付け方の演示

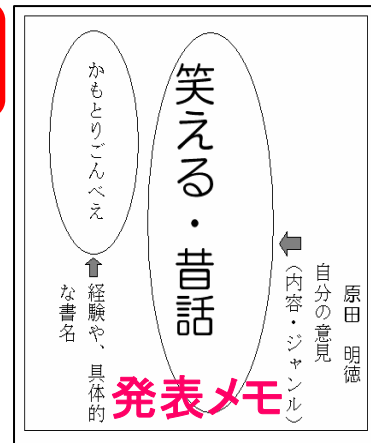


C 見出し付けの演示



②メモの活用

自信をもって発表できるように自分の意見(1年生に読んであげる本を選ぶときに大切にしたいこと①内容②ジャンル)とその理由(自分の経験や具体的な書名)を書かせた。



③共通点に目を向けて話し合う指導の工夫

発表メモに書かせた意見の共通点を見付けさせる。ホワイトボード上で仲間分けさせた後、見出しを付けさせた。



成果と課題

教師が、児童の役を演じ、話合いの場面を例示したことにより、児童の興味・関心を強くもたせることができた。また、発表メモには自分の意見とその理由を書かせてあったので、自信をもって発表する姿が見られた。しかし、全員の児童に司会を経験させることができなかったため、グループによる話合いの場面を他教科でも取り入れていきたい。